



第66号

港北区スポーツ推進委員
連絡協議会広報誌

活き 生き スポ進

KOHOKU

令和2年1月 発行
発行者
港北区スポーツ推進委員連絡協議会
編集
港北区スポーツ推進委員広報委員会
事務局
横浜市港北区大豆戸町26-1
横浜市港北区役所地域振興課内
電話 045-540-2238
FAX 045-540-2245

小学生スポーツフェスティバルを開催しました。

7月15日(祝・月)港北スポーツセンターにて、2年ぶりとなる小学生スポーツフェスティバルを開催しました。当日は203名の小学生が参加しました。

タグラグビー

ラグビーワールドカップの開幕を控え、大盛況でした！



ラグビーボールをさわってみよう

不規則に変化するボールを上手に投げる
ことができるかな



タグラグビー体験について

タグラグビーは腰につけたタグを取られないようにラグビーボールをパスしながらトライする競技です。

体のぶつかり合いがないので男女関係なく楽しめるスポーツです。

体験教室では、ラグビーボールに慣れることと体を温めるために、ボールの奪い合いを4つのチームに分かれて行いました。そのあとは、パスの練習として、後ろの人が追い越し少し前にボールをパスしながらゴールまで運ぶという練習をしました。その後、2チームに分かれてタグラグビーの体験を行いました。

1回、1時間程度の教室でした。スポーツ推進委員は、コート作りや、人数が足りないチームに入ったりしてお手伝いしました。



フットサル

当日はスポーツ推進委員30名が動員。4種目で小学生に体を動かす楽しさを体験してもらいました。



目指せ！
未来のJリーガー！

ユニホック

スティックで上手にボールを扱おう！



このほかにも、野球・バドミントン・卓球・ミニバスケットボール・太極拳・ラダーゲッター・輪投げ・ナインゴール・ポッチャなどたくさんのスポーツを体験してもらえる機会となりました。

港北区制80周年記念

第24回 港北区ペタンク大会 を開催しました。

開催日 11月17日 (日)
 会場 鶴見川樽町公園
 参加者数 237名
 スポ進動員数 41名



優勝	城郷B(城郷地区)
準優勝	まめどーC(菊名地区)
3位	カンパニーズ(綱島地区)
4位	ASS・A(新吉田あすなろ地区)

優勝チームのコメント

なんと城郷Bチームが2連覇を達成しました。昨年と同じ現役スポ進とスポ進OBの混合チームです。私は、スポ進に参加するまでペタンクと言う競技さえ知りませんでした。しかし、いざ競技に参加しているうちにペタンクの奥深さを感じています。



見事2連覇を果たした
城郷地区 城郷Bチームの皆様

ここで必勝パターンを紹介します。
 まず、先行をとることが絶対的に有利です。先行でビュットの近くに球を置ければゲームをコントロールすることが可能です。最初のじゃんけんに勝ったら迷わずビュットを取りましょう。
 次に大事なことは最後の1投まで諦めないこと、チームワークです。今回の大会でも予選リーグでは1勝1敗でしたが、得失点差での決勝リーグへの勝ち上がりです。初戦の敗北で諦めなかったこと、しかも1点差で次の試合につなげました。
 また、決勝リーグでも最後の1投で寄せて同点に追いつき、同点後の1投勝負で勝ち切る試合がありました。これは同じチームのスポ進OBのお二方のおかげでした。
 今は、You tubeでペタンクの本場、ヨーロッパでの試合の映像を見ることができます。まだやったことがない方にもペタンクのルールと魅力を感じて下さい。
 今回、応援いただいた方々には本当に感謝申し上げます。

城郷Bチーム 板東 邦彦

港北区とラグビー

～網島地区での取組～

網島地区スポーツ推進委員

岸 洋司

ラグビーワールドカップ2019™が開催されましたが、ラグビーの楽しさを少しでも知ってもらうため、通常のラグビーとは違いタックルが禁止されている代わりに相手のタグをとり攻撃を止めるタグラグビーの講習・実践を行いました。

初めは慣れないスポーツでしたが、ルールをしっかりと時間をかけて大人・子どもが一緒になって講習を受けていくうちに、じわじわと興味が湧いてきて、休憩時間を忘れてしまうほど、その面白さに夢中になりました。ゲームの中で皆の純粋な気持ちに触れ、地域へのまともりや活性化をするために、一層取り入れていきたいと思ひます。



～樽町地区での取組～

樽町地区スポーツ推進委員

岡本 悦子

歴史的快挙を成し遂げた、ラグビーワールドカップ。ノーサイドとともに、健闘をたたえ合う姿には、とても感動しました。その興奮と感動を“樽町連合町内会 体育祭”に届け!!

ラグビーボールを使用した競技「ボール送り」を行いました。ボールを落とさないように、トライを目指し、熱い戦いに盛り上がりました。

もちろん、最後はノーサイドで…。

～師岡地区での取組～

師岡地区スポーツ推進委員 鹿野 義雄

ラグビー啓発イベント
 ラグビーワールドカップに向けて、機運啓発イベントの協力依頼が区からあり、頭を悩ませました。さてどうしようか?いくつかアイデアが出ましたが、最終的には自分たちだけでできる範囲で子供たちをメインに、ボールを使ってパスやミニゲームで楽しんでもらおうということになりました。全くの未経験者揃いのスポ進一同、ネットでルール調べから始めました。準備運動からゲーム感覚でのパス練習やタグ取り遊びなどで汗を流した後タグラグビーを行い約2時間のイベントを終了。また小さな子供達用の的あてボードなども準備していたのでお母さんたちと楽しく遊んでいました。今回、ルール調べから始めたことでスタッフにもラグビーに関する知識を深めることができ良かったかなと思ひます。



港北区スポーツ推進委員の取組

かながわパラスポーツフェスタ

篠原地区スポーツ推進委員 時野 秀治

神奈川県では毎年、『かながわパラスポーツフェスタ』を開催しています。

この目的は『パラスポーツ推進に向けた取り組みに加えて、競技を継続する意欲を高める為、日ごろの練習成果を発揮できる場として、誰もが参加できて多くの人との交流できるパラスポーツ大会を開催することで「かながわパラスポーツ」の定着を図る』事です。

私はこの大会に審判員資格取得の為参加してきました。当日はレク部門、競技部門と二つに分かれ合わせて36チームが参加大いに盛り上がる大会でした。

2020オリパラが行われた以降スポーツが盛んになることは間違いありません。特にパラスポーツは最近多く目にするようになってきました。しかしこのスポーツを指導する指導員が不足しています。この機会に資格取得して障害者と健常者が共に楽しめるスポーツ、パラスポーツを地域に広め多くの人が交流できる場を作ってみませんか。



「ボッチャ」という競技を知っていますか。



○ボッチャとは・・・

ボッチャは、運動能力に障害がある競技者向けにヨーロッパで考案されたスポーツであり、1984年からパラリンピックの正式競技です。2016年のリオのパラリンピックでは日本が銀メダルを獲得しております。

○ルールは・・・

カーリングやペタンクに似たスポーツであり、チーム戦では、3人対3人で、1人2個ずつボールを持ち、的となるジャックボールにどれだけ近づけることができるかを競うシンプルな競技です。1ゲーム6分です。

○道具は・・・

中は硬質だが、表面は少しつまめるほど柔らかな素材で包まれており、あまり転がらず弾まないボールを使用します。ジャックボールは白色、プレーヤーは赤色と青色のボールを使用します。

また、投げることが困難な障害者は、ランプ(勾配具)やヘッドポインターなどの補助具を使用します。

港北区では6月にボッチャ研修を行いました。

東京2020パラリンピックでは、ボッチャは8月29日から9月6日に開催されます。